

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤咲 芙美子 議員 9

- ・ 廃校活用について
- ・ 住宅リフォーム助成制度について

藺部 一 議員 10

- ・ 職員の健康管理について
- ・ 野生鳥獣対策について
- ・ 道路行政について

三村 孝信 議員 11

- ・ 下水道事業について

議会を傍聴しましょう！

傍聴者報告
第4回定例会
(12月5日～12日まで開催) 23人
第5回臨時会
(12月26日) 19人



車いすでの傍聴も出来ます。

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。
TEL. 029-288-3111 (内線302) <http://www.town.shirosato.lg.jp>



藤咲 芙美子 議員

廃校利用について

旧古内小学校に歴史民俗資料館の設置を

《町長》校舎のすべてを資料館とするには
広すぎる



藤咲 小学校は子や孫、ひ孫が代々通ってきたところで、学校行事では家族が集う地域の文化の拠点である。私は、廃校になった古内小学校施設を歴史民俗資料館として再活用することを提案したい。城里町の小学校教材「学ぶつく」に紹介さ

れている57の文化財などを具体的な姿として展示することは意義あることではないか。現在、常北小学校の資料室に脱穀機やノコギリなどの古い民具が残されていて、この町に豊かな自然とともに生きた先人たちの営みを感じる

ことができる。しかし、ここは普段鍵がかかっていて児童や町民が自由に見ることができない。また、この町の歴史資料が歴史館や茨大の図書館などに保管されていると聞く。並松遺跡や藤前遺跡の調査発表の際には多くの見学者があつたと伝えられている。町民の関心はある。「学ぶつく」の方向をさらに発展させて

藤咲 私は、住宅リフォーム助成制度のさらなる利用拡大を願っている。これの利用は町内の経済にも貢献するものだが、利用が商工会入会者に限られている。この間私の知人が商工会員でない業者のため利用できないと断られた。この事業を商工会の枠内だけのものにしていいか。現在のやり方か。現在のやり方か

いくものとして、旧古内小学校を民俗資料館としての活用を提案したい。
町長 校舎のすべてを資料館とするには広すぎる。現在、桂図書館内に郷土資料館、七会に山村文化資源保存伝習館がある。町民の郷土への理解と関心を高めようするために、たとえば黒澤止幾の生家を活用することも検討したい。
住宅リフォーム助成制度について
《町長》
今後さらなる利用拡大に努めていきたい
藤咲 私は、住宅リフォーム助成制度のさらなる利用拡大を願っている。これの利用は町内の経済にも貢献するものだが、利用が商工会入会者に限られている。この間私の知人が商工会員でない業者のため利用できないと断られた。この事業を商工会の枠内だけのものにしていいか。現在のやり方か。現在のやり方か

職員の健康管理について



議員 一 部 菌

《町長》 衛生委員会を設置している

菌部 職員の中で
身体面や精神面で体
調を崩されて診療や
入院されている方は
いるのか。

町長 12月1日現
在で療養休暇を取っ
ている職員は1名。
休職中は1名だ。

菌部 職員が職場
の変更や職種が増え
負担になった時、周
りや上司に相談でき
る仕組みが必要では
ないか。新採職員も
楽しく元気に働ける
環境は必要だ。

産業医の立場は。

町長 職員の悩み
を聞く機会は月一回
課長が面談して情報
が上がってくる。城
里町衛生委員会を設
置している。各課長
からの報告で、必要
があれば産業医と面
接・相談できる。

野生鳥獣対策について

《町長》 10月に鳥獣被害対策実施隊ができた

菌部 農作物・農
業施設等の被害額・
被害状況はどうか。

対策として今後は。

町長 農業共済は
13件、被害額は50万
円程度だ。町の調査
では55件で400万
円以上。

対策は、狩猟免許

取得の補
助、箱わな、
電気柵の購
入補助やわ
なの見回り
活動員の検
討、ジビエ
倍增モデル
整備事業、
ジビエカー
の導入を検
討する。



箱わなに入ったイノシシ

※ジビエカー…ジビ
エ(野生鳥獣)の解
体処理車

菌部 鳥獣被害対
策実施隊の補助金を
現在の200万円か
ら二倍、三倍にして
は。

くくりわなは年間
通り有害駆除はでき

ないか。有害駆除専
門の嘱託職員の採用
は。

町長 今年の10
月より県補助金・町
補助金合わせて1頭

1万6千円だ。10月に
鳥獣被害対策実施隊が
できた。わなによる捕
獲が可能だ。地域での
囲いわなは要望があれ
ば検討する。

道路行政について

《町長》 区長要望により改良工事をしたい

菌部 町内で旧常
北地内の道路は狭く
生活道路として児童

要望により改良工事
をしたい。

の通学、緊急車両が
入れない道路がある。
今後の計画はあるの
か。

町長 消防署の調
査では、旧常北地内
で中型以上の入れな
い路線は35路線。4

菌部 区長は区
代表だが町民が直接
町に要望したり、町
長や職員は道路事情
が分かっているので、
町の方針として道路
改良しては。

メートル以下の町道
は650路線。道路
の改良要望は年三、
四件だ。今後も区長

町長 町の道路改
良係は三、四人だ。負
担が大変だ。区長要
望は地権者の印鑑も
あり、行政主導より
早い。



みむら たかのぶ
三村 孝信 議員

公共下水道事業について

公共下水道事業と農業集落排水事業の統合は

《町長》町の財政上、統合を計画的に進めていきたい。

三村 合併後の整備状況と接続率及び増井・磯野地区の今後の予定は。

町長 常北地区は計画面積365haに対して351ha。桂地区は303haに対して274ha整備している。接続率は県平均89%に対し73%である。

増井・磯野地区については、下水道審議会の答申を年度内にもらい決定したい。

三村 直近の接続率を示してほしい。

町長 直近でいうと経過5年で47%だ。80%以上の接続率を目指し戸別訪問等を実施し努力していきたい。

農業集落排水事業は

三村 整備状況及び上入野地区農業集落排水施設の老朽化への対応は。

町長 上入野地区・青山地区・古内地区・北方高根地区・孫根地区の5区が稼働している。上入野地区は供用開始後20

年が経過し、メンテナンス費用も年間1,000万円以上になっている。施設機能維持には、処理施設を廃止し公共下水道へ統合することが財政上最も経費削減が期待できる。

上入野農業集落排水施設

上入野農業集落排水施設



公共下水道事業と農業集落排水事業の統合は

三村 全国的な先進事例は。

町長 42都道府県で307カ所の事例があるが茨城県ではまだ一例もない。

三村 増井地区と上入野農集排水事業の統合は。

町長 この件に関しても下水道審議会に諮問しているが、統合に至るまでには増井地区や上入野地区までの幹線を整備することになる。まずは増井地区の整備を推進したい。

三村 今後、他の地区も公共下水道と農業集落排水との統合を考えているのか。

町長 下水道事業は維持管理費を利用料金や分担金で賄えているが農業集落排水は厳しい状況だ。町の財政上も今後は統合を計画的に進めていきたい。